

平成21年中の交通事故発生状況

☆県内の交通事故死者数 199人

全国ワースト6位

☆飲酒運転による死亡事故件数 16件(+4)

全国ワースト2位

		発生件数	死者数	負傷者数
茨城県	平成21年	16,668件	199人	21,632人
	前年比	△1,557件	△11人	△1,876人
牛久市	平成21年	473件	4人	587人
	前年比	△62件	△2人	△85人

(資料提供：茨城県警察本部 平成21年12月31日現在)

☆県内の交通事故の特徴

- ①年齢別では、高齢者(65歳以上)の死者数が90人で最も多く、全死者数の45%を占めており、高齢者が歩行中(46人)や自転車乗車中(18人)に事故が発生しています。
- ②違反別では、最高速度、酒酔い、信号無視など悪質な違反による死者数(51人)が全死者数の約26%を占めています。
- ③シートベルト非着用の死者数は32人で、着用していれば約半数は助かった可能性があります。



牛久市消防団の沿革を2回にわたって掲載します。1回目は、市制が施行された昭和61年までをご紹介します。

牛久市消防団は牛久町と岡田村が合併した昭和29年、牛久町消防団として発足しました。その約1年後、牛久町と奥野村の合併に伴い、奥野村消防団が編入されました。

昭和50年には牛久消防署が開設され、常備消防と非常備消防が一体となった消防体制が整いました。牛久消防署と消防団の協力関係は開署から今日まで、30年以上にわたり受け継がれています。

昭和53年、小坂団地で活動を続けてきた自衛消防隊を消防団の分団として迎え、牛久町消防団は全30分団になりました。

消防団のあゆみ



市交通防災課
☎内線1682

牛久市消防団沿革(明治20年から昭和61年)

年・月	内容
明治20年7月	牛久村消防組発足
明治30年	奥野村消防組発足
昭和14年4月	牛久村・岡田村・奥野村警防団発足
昭和22年5月	牛久村・岡田村・奥野村消防団発足
昭和29年4月	牛久町(昭和29年1月1日、町制施行)・岡田村が合併、「牛久町消防団」発足
昭和30年2月	奥野村(昭和30年4月1日、牛久町と合併)消防団を編入
昭和53年4月	小坂団地自衛消防隊を編入、全30分団となる
昭和55年4月	全分団において車両の配備が整う
昭和61年6月	市制施行「牛久市消防団」に改称

昭和55年、30個あるすべての分団に車両の配備が完了しました。これによって消防団の機動力は大幅に向上し、より迅速な消火活動が可能になりました。

そして昭和61年、牛久町が市制を施行したことを受け、消防団の名称も「牛久町消防団」から「牛久市消防団」に改められました。